

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.6.16

No. 22



## 今年も就職戦線厳しさ予測

今年の求人活動は7月1日からスタートしますが、今年は東日本大震災の影響で昨年同様に厳しさが予想されています。しかしこれまで私が企業回りをした感触では、昨年より若干求人も多いのではと感じていましたが、ここに来て日本の問題だけではなくアメリカの経済がやや停滞気味です。世界の一大消費国のアメリカの経済が停滞すれば、日本の製品はたちまち売り上げが落ちてしまいます。それに伴って日本や中国等にその影響が今後顕著に出てきそうです。

秋以降震災の影響が幾分落ち着いてくれば何とかなるかという多くの人の期待を込めた予想はどうも怪しい雲行きになりつつあります。皆さんが期待するほど良い状況にならない可能性が高いと思います。第一次の求人でも多くの企業が求人をしてくれれば出来るだけ早く決めないと、一次試験不合格者にとっては秋以降それほど求人が伸びないことが考えられます。昨年も同じような傾向が見られ、秋以降求人が途絶え大変苦労しました。

先のことは必ずしも明確に分かりませんが、今年も就職希望者増の中で、世の中も大変厳しい状況にあり、今まで以上の厳しさを覚悟しそれなりの対策を心がけないと、後で困るのは皆さんです。まだ気持ちが乗り遅れの者が何人か見受けられます。少なくとも自分の進路が決まるまでは気が抜けないことをしっかり自覚しましょう。



## 「生きたあかし」を残す

有史以来この地球上には多くの人々が生まれ亡くなっていきました。歴史に名を残した人もありますがそれはほんの一握りでしかなく、大多数の人々は歴史の流れの彼方に消えていきました。しかしそうした多くの人々の命が受け継がれたおかげで、今日の私達がこの世の中に存在しているのも確かです。皆さんの祖先の誰か一人でも過去のある時代に命を受け継がなければ、あなた自身はこの世から消えてしまいます。歴史に名を残さない人々でも、確実にその人の生きたあかしを残していることになるでしょう。

私達が日々働き、その働きにより多くの人々が相互作用しあいながら生きていることも確かです。ある人が工場で働いて作られたある一部の部品が寄せ集まり一つの製品となり、その製品を別の人が日常に使っています。こうした意味では一人一人の人間の生きたあかしがそこに集約されていると言っても過言ではありません。

こうした意味だけではなく、自分だけにしかできない生きたあかしを残したいと思うのも人間の常です。小説家や芸術家が作品を残したり、建築家が建築物を残す等、「形として」自分の生きたあかしを残すことも出来ます。勿論形が残らなくとも、看護師さんが患者に手厚い看護をするというように「心」で残すことも出来ます。

日々何となく時間を無駄に過ごすのではなく、日々精一杯生きたとき、自分の生きたあかしを残せるでしょう。せっかく生まれたこの人生に何か自分の生きたあかしを残せるような生き方を心がけてみたいと思いませんか。